

京都市北図書館だより

むらさきのつつしん

テーマ：**アガる！本**

第 30 号

2025年6月発行

新しい環境にも慣れてきた6月。
でもお天気も不安定で、なんだか元気が出ない……。
そんな時に読みたい、「アガる！」本を集めました。
この本を読んで、梅雨の時期を乗り越えましょう！

『ただいま神様当番』

青山 美智子／著
(宝島社 2020)



午前 7 時 23 分、坂下バス停で出会う 5 人(OL、高校生、外国人講師、小学生、電気工事社長)が神様当番に選ばれた。朝起きたら突然神様が部屋にいて、驚いているまもなく、神様の「わがまま」をかなえろと言われます。当番に選ばれたそれぞれは今の生活に素直になれずこじらせた日々を送っていたのだが、神様の「わがまま」を何とかすることで、こじれた日々が解きほぐされていくようです。

『私は私のままで生きることにした』

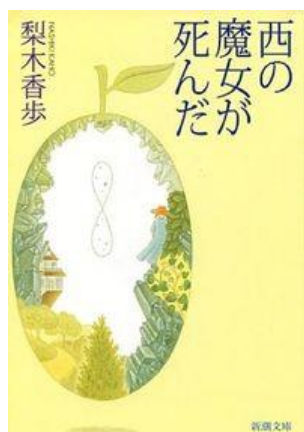
キム スヒョン／著, 吉川 南／訳
(ワニブックス 2019)



多様性の時代といわれ、自分らしく生きることを認められつつあるが、自分らしく生きるためにどうすればいいのかわからない。そんなあなたへ「自分を認めて愛する方法を伝えたい」という著者の思いを込めた一冊です。人と比べることなくありのままの自分で生きていこうという勇気が湧いて、爽快な気持ちになれる本です。

『西の魔女が死んだ』

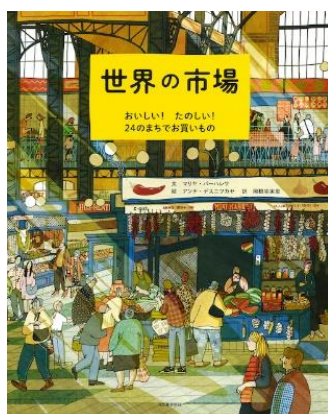
梨木 香歩／著
(新潮社 2001)



「西の魔女が死んだ」……。ママから聞いたまいは動揺する。西の魔女とは、まいが学校に行けなくなった時に何も聞かず一緒に過ごしてくれた大好きなおばあちゃん。おばあちゃんとの魔女修行のおかげで自己肯定感が上がり、まいは学校に行けるようになった。2年ぶりのおばあちゃんの家でまいが見つけたものは……。

『世界の市場 おいしい!たのしい! 24のまちでお買いもの』

マリヤ・バーハレワ／文,
アンナ・デスニツカヤ／絵, 岡根谷 実里／訳
(河出書房新社 2022)



チリ、タイ、モロッコ、イギリス等々。いろんな国の市場をめぐれば、気分もアガってきませんか？

売っている物だけでなく、人々の服装や場の雰囲気も、市場によって様々。おすすめのおやつや、みどころも紹介されています。自分がここに買い物に行ったらどうするだろうと、想像をふくらませてみてください！探し絵クイズもあるので、挑戦してみてくださいね。

『スクール・ウォーズ 落ちこぼれ軍団の奇跡』

馬場 信浩／著
(光文社文庫 1985)



高校ラグビーの聖地“花園”でV4の強豪、伏見工業高(現・京都工学院高)ラグビー部。その栄光の始まりは、元日本代表の山口良治が同校の体育教師となった昭和49(1974)年に遡ります。当時荒廃していた伏見工。ヤンチャ揃いの生徒たちの心に闘志と熱情と信頼を育てて鍛え上げ、わずか6年で日本一に導いた奇跡の物語。

『世にもあいまいなことばの秘密』

川添 愛／著
(筑摩書房 2023)



誰かとコミュニケーションをとる中で起こる、ことばの意味の食い違い。うまく伝わらなかった事にイラ立つよりも「ことばのあいまいさ」をいっそ楽しんでしまおうというのがこの本。ことばをとらえる角度が変われば、気づかなかった面白さが見えてくる！さあ、ことば沼にハマってアガりましょう！

『選挙、誰に入れる？ ちょっとでも良い未来を「選ぶ」ために知っておきたいこと』

宇野 重規／監修
(Gakken 2024)



政治とは、お金の使い方を決めること。みんなが納めた税金をどのように使ったら、みんなが豊かに暮らせるかを考えることです。この本では、消費税、貧困、投票率など、様々なテーマで日本と世界の国々を比較できます。政治に興味と感心を持ち、広い視野で世界を見つめるためには、いろいろなことを知らなければいけません。自分たち一人一人の力で国が変わると思うと、勉強のやる気もアガリませんか？ みんなで力を合わせて、今よりもっと良い未来を切り拓いていきましょう！

『友だち関係で悩んだときに役立つ本を紹介します。』

河出書房新社／編集，金原 ひとみ／[ほか]著
(河出書房新社 2024)



人生、良いことばかりじゃないし、学校や友達とのことで悩むことはありませんか？ 過去に似た経験をしたことのある、むかし中学生だった楽しいおとな達(作家、建築家、哲学者 etc…)が、そんなあなたに寄り添って、気分を今よりはアゲてくれます。もし落ち込んだ時、悩んで悩んで悩んだあとは、自分の世界の外に目を向けてみてください！

『小説の書きかた』

須藤 靖貴／著
(講談社 2015)



文芸部に入っている高校生4人組。小説誌の新人賞に共作で応募することを決め、リレー形式で書き始めます。しかし文芸部に入りたてのキミコは、小説を読むのも書くのも初めてで、一行も書けません。落ち込むキミコに、仲間たちは小説の書き方・構成の仕方など、あれやこれやと教えてくれます。一人では困難なことも、仲間たちと支えあえば乗り越えられる。頑張るキミコたちを応援していると、私たちの気持ちも一緒にアガります！

『写真で見つける光のアート 街歩きを10倍楽しくするために』

小林 茂雄／著，東京都市大学小林研究室／著
(雷鳥社 2010)



街にあふれる形も色もさまざまな光の瞬間を撮影した光のアートの写真集。「天然スポットライト」「きらきらカーテン」など楽しいタイトルがいっぱい。自分なりの光のアートを見つけた時、気持ちがアガること間違いなし！ ふだん歩いている街の見え方も変わってきます。撮影グッズの紹介から見つけ方、撮影のコツまで解説してくれているので、これから始めたい人にもおすすめです。



生きチャレのおすすめ本



『赤ずきん、旅の途中で死体と出会う。』

青柳 碧人／著 双葉社 2020

旅に出た赤ずきん、その道中でいろいろな事件に遭遇します。
「シンデレラ」、「ヘンゼルとグレーテル」、「眠り姫」、「マッチ売りの少女」
をベースに事件が発生します。

童話×ミステリ、ページをめくる手がとまらない！（P.N A.N）

『妖怪コンビニで、バイトはじめました。』

令丈 ヒロ子／著 あすなろ書房 2021

古いマンションに父さんと二人っきりで住んでいる主人公「イズミ」。
イズミが家をいきおいよくでて、住宅街を歩いていたら、見たことのない
不思議なコンビニが……。

まか不思議で面白い話がある作品です。（P.N R.M）



京都市北図書館

〒603-8214

京都市北区紫野雲林院町 44-1

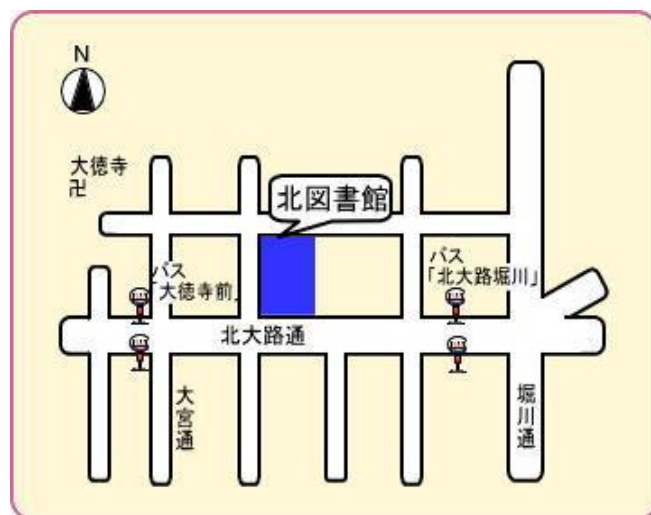
TEL 075-492-8810

開館時間 平 日 9:30～19:00

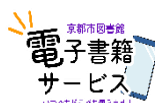
土日祝 9:30～17:00

休館日 毎週火曜日（祝日の場合は翌日）

URL <http://www2.kyotocitylib.jp>



（公財）京都市生涯学習振興財団



★京都市図書館で本を借りるときは図書館カードが必要です。カードの発行には、
住所、氏名を確認できるものが必要です。